

～感想と反省～ 瀬尾 玲美 (4)

目標は8位入賞でした。だから、準決勝に行けたのは嬉しかったけれど、手放しで喜ぶことはできませんでした。敗復1着でゴールした時に覚えているのは、つらそうに漕いでいる他のクルーの背中と、抱き合っぴょんぴょん跳ねながら喜んでいる安生と江口の姿でした。この姿を見るために自分は漕いでいたのだと思いました。準決勝は敗復1位の早稲田の木下さんと当たりましたが、やっぱり速かったです…！500の時点でもう見えなくなっていました。島根大学の後藤さんはずっと並べてみたいと思っていたので、その速さを体感出来てよかったです。でもずっと声が聞こえる距離にいて、「意外に近い！」と思うことも出来ました。コンスタントレート30を切らずに進めたのはよかったです。最初の500も、全体のタイムも自己新記録を更新したのもよかったです。クォーターごとのタイム落ちが大きいのと、スタート後300mくらいでオールミスしたのも悪かったです。激しく後悔しています。全体のタイムを見ると、順位決定に行くクルーは必ず8'20を切っていて、決勝に行くクルーは必ず8'10を切っていました。格上との明らかな「違い」を見せつけられ、掲示板の前で呆然としたのを覚えています。やらなければいけないことがたくさんあるのだと思いました。9/7からの全日本選手権に向け、まだ力をつけなければいけません。全日は「エルゴ8分cut」という制限があるだけあって、レベルの高い大会になると思います。自分がどこまでやれるのかわかりませんが、予選と敗復と準決のいいところを集めてひとつのレースで体現できれば理想的です！まだまだ頑張ります。応援して下さった全ての方にお礼を申し上げます。ちゃらんぼらん私を見放さないでいてくれて、本当にありがとうございます。まだ頑張るので、よろしく願いいたします。

対校男子舵手付きフォア [B.平(4) 2.荒木(5) 3.安生(3) S.上杉(4) C.中村(3)]

予選

レーン	クルー	500m	1,000m	1,500m	2,000m	順位
1	滋賀大教育学部	01'58"51	04'02"28	06'05"05	08'05"95	5
2	小樽商科大	01'49"43	03'44"64	05'43"30	07'40"38	3
3	関西学院大	01'52"39	03'49"55	05'50"90	07'48"84	4
4	茨城大	01'45"42	03'35"75	05'30"97	07'26"66	1
5	大阪大	01'49"79	03'44"99	05'43"58	07'40"05	2
6	福島県立医科大					失格



蹴り出し

敗者復活

レーン	クルー	500m	1,000m	1,500m	2,000m	順位
1	松山大	01'48"80	03'46"86	05'45"04	07'42"83	5
2	北海道大	01'43"94	03'33"16	05'20"74	07'07"37	3
3	山口大	01'42"40	03'30"91	05'17"88	07'01"01	1
4	中央大	01'41"11	03'29"05	05'18"14	07'04"28	2
5	小樽商科大	01'44"60	03'36"06	05'28"07	07'18"16	4



敗復

～感想と反省～ 中村 慎吾 (3)

対校フォア、コックスの中村です。僕にとって二度目のインカレも敗復落ちに終わってしまいました。まだ気持ちの整理がついてない、もやもやした状態ですが、締め切りがあるので簡単に報告します。対校フォアの選考や、その後すぐに参加した七タレガッタでの勢いから、速くなる期待はあったのですが、怪我の続出とメンバー変更が相次ぎ練習がままならない事態に陥りました。レース本番も体力がもたず艇速が落ちました。御託を並べたところで負けは負けです。いろんな出来事や思うことはありますが、文章化は難しいです。



荒木 優之介 (5)

今回のインカレが自分にとって正真正銘最後のレースでした。自分は対校のシート選考で落ちたので、シングルで出漕する予定でしたが、整調の高木が体の不調を訴えた為、対校フォアの二番で漕ぐことになりました。予選は、スタートは上手く出来たもののコンスタントでレートを維持することができず、ズルズルと離されていってしまいました。なので、敗復ではレートにこだわるということで挑んだのですが、それでも第二クォーターからアウトプットが落ちて差が広がるレース展開になってしまいました。茨戸での練習では、まずトップスピードを出すことに重点を置いてスプリント系のメニューを多めにしたのですが、その分高いレートで長い距離を漕ぐ練習を取り入れられなかったのが、本番でそのまま出てしまったという感じでした。